

総合理工学部 理工特別コース 数理分野  
江角匠平

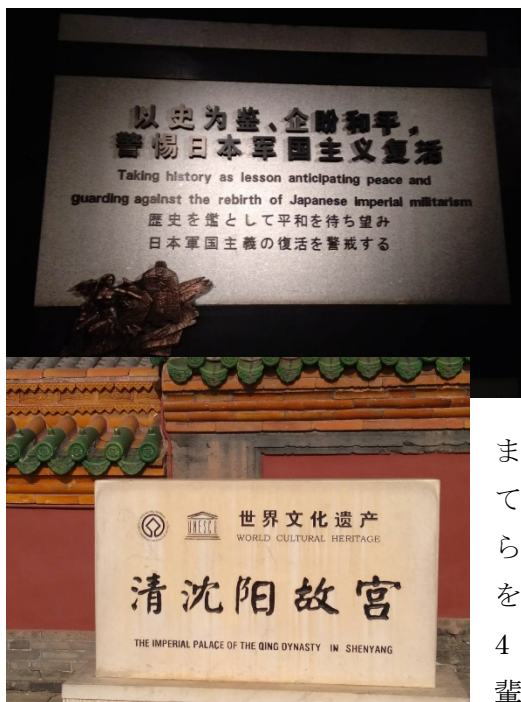


写真1：瀋陽故宮の石看板



写真2：瀋陽故宮

2月、3月はいろいろなことがあり、とても充実した日々を過ごせました。特に思い出に残っていることはホームステイをしたことです。私は2月3日から6日午前までは瀋陽で、2月6日午後から15日までは北京近くの町でホームステイをしました。瀋陽では数学科の先輩（楊さん）のお家でお世話になりました。3日の夜、楊さんのご実家に到着したとき、楊さんのお母さんが作ってくれていたたくさんの料理を見てとてもホッとしました。中国に来てからは大学食堂か飲食店で食事していたので、家庭料理を食べるのが久しぶりだったからです。やはり、家庭料理はなんとも言えない安心感を与えてくれるのだと感じました。

4日と5日は楊さんと楊さんの友達（その方も私の先輩）、楊さんの弟の三人と一緒に観光やスキーをしました。4日は瀋陽の故宮と九一八歴史博物館へ行きました。故宮へは弟と二人で行きました。私は以前、北京の故宮へ行ったことがありましたが、瀋陽の故宮は北京の故宮より小さかったです。雰囲気はほとんど同じような感じがしましたが、北京より観光客が少なかったのもゆっくり展示を見ることができてよかったです。故宮を観光した後、先輩方と合流し、昼食を食べました。2月4日は立春だったこともあってか、春餅を食べることができるレストランに行列ができていました。私たちもそこに並び、春餅を食べました。昼

食後は 918 事変や抗日戦争についての展示がある九一八歴史博物館へ行きました。そこでは日中間で起きた戦争について学ぶことができました。満州事変などについてここまで詳しく学んだことがなかったのでいい機会になりました。5日はスキーをしに行きました。私が行った瀋陽のスキー場ではスノーボードをしている人がかなり少なく、少しびっくりしました。中国では日本ほどスノーボードの人気のないのかと思いました。スキーは朝から昼過ぎまでし、その日の夜は銭湯へ行きました。久しぶりにお湯につかることができるとても気持ち良かったです。入浴後は

汗蒸と呼ばれるサウナのような部屋で先輩方と色々な話をしました。2月の東北地方はとも寒いので、汗蒸で身体を温めることができよかったです。

6日に瀋陽を出発し、北京へ移動しました。北京でお世話になったのは以前から友達だった柳君のご実家です。彼は日本語を話すことができるので、日本語と中国語を使ってコミュニケーションをとっていました。中国では旧正月（春節）を過ごす文化があり、2018年の旧正月は2月16日だったので、中国の年末を過ごすことができました。印象深かったことは、年末はいつものテレビ番組とは異なり、音楽特番や平昌オリンピックなどでとても豪華だったことです。柳君のご自宅でも毎食、お母さんやお父さんの手料理を食べることができました。お母さんは毎日、饅頭（中国の蒸しパン）を作っていました。お母さんの作る饅頭はとてもおいしかったので作り方を教わりました。しかし、難しそうだったので諦めました。お母さんに私があんこが好きだということを伝えると、毎日あんまんを作ってくれました。とてもうれしかったです。食事のときは家族そろって食べていました。その時、お父さんが私に対してよく「多吃！吃饱了，就不想家了！（いっぱい食べなさい。おなかいっぱい食べると実家が恋しくなくなるから。）」と伝えてくれました。とてもいいお父さんだと思いました。流暢な中国語を話すことはできませんでしたが、お父さんはいっぱい話しかけてくれたので楽しかったです。

北京では北京動物園へ行きました。おそらく初めてパンダを生で見ました。生で見ると、かわいいというより、動きがダイナミックで意外と俊敏な動きをしていました。パンダはほかのどの動物よりも人の注目を集めていたので写真を撮るのが大変でした。



写真4, 5：北京動物園のパンダ

2月末になると、新学期からの留学生が十人ほど東北師範大学に来ました。ほとんどが新三年生で後輩になるのですが、全員語学留学で専門が中国語の人も多く、とても頼もしく感じました。3月からは新学期が始まりました。クラス分けテストの結果、中国語の授業では一番レベルの高いクラスに配属されたのでうれしかったです。しかし、授業が始まると、クラスの中で一番中国語ができないのは自分だということに気づきとても焦りました。

それと同時に、レベルの高いクラスメートと一緒に授業を受けることができるのはありがたいとも思いました。クラスメートは韓国人とロシア人が多く、日本人は自分を含めて三人です。いろんな人から刺激をもらいながら勉強できてとてもいい環境ですし、クラスメート同士の仲がとてもいいので毎日の授業が楽しいです。

3月末になり、新学期はもう一カ月が経とうとしています。ありがたいことに、長春は暖かい風が吹くようになり、春を感じる日が増えてきました。春を迎えるのと同時に、島根大学では4月から新学期が始まります。私はもうすぐ四年生ということになります。より一層、気合を入れて数学と中国語の両立を目指していこうと思いました。